

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19016
研究開発課題名:	ガンマ線コンプトンカメラ GREI による早期診断技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	理化学研究所 生命機能科学研究センター 副チームリーダー 本村 信治

1. SCORE での活動目的

GREI はガンマ線のコンプトン散乱を活用したイメージング装置で、PET や SPECT と異なり、高エネルギーのガンマ線を発する核種を同時に計測でき、アルツハイマーなど機構が不明だった疾患の創薬・診断が可能である。本研究開発課題では、GREI を用いた診断技術の事業化仮説検証を目的として、ベンチャー企業設立を想定したビジネスモデルの構築と、顧客インタビュー等によるニーズ調査・ビジネスモデルの再構築・ブラッシュアップ、実用装置の策定に向けた技術的検証実験などを行う。

2. 総合所見

製薬企業や大学・研究機関の研究者に対する着実なヒアリング活動により、新たな技術課題を発見し、GREI(Gamma-Ray Emission Imaging)の事業化についてのロードマップを構築した点を評価する。創薬支援サービスとして医薬品の共同開発につながれば事業性の高い技術であるため、継続的な事業化活動を期待する。

以上